

令和6年度

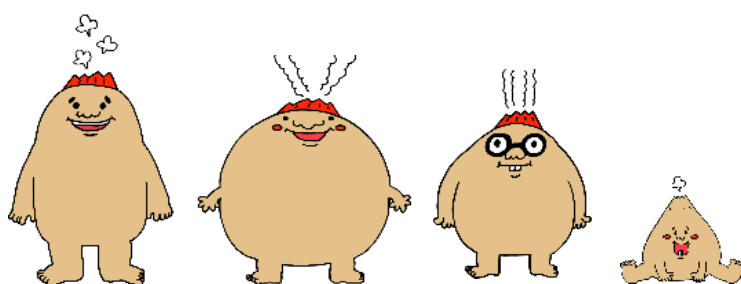
社会学級の手引き



令和5年度 社会学級委員等研修会（後期）

マグマシティ PRキャラクター

火山の妖精 マグニオン



リキニオン

マルニオン

メガニオン

ペビニオン

鹿児島市教育委員会

生涯学習課

【E-mail】 sgaku-syogai@city.kagoshima.lg.jp

はじめに

地域コミュニティ協議会長及び学校長をはじめとする関係者の皆様方には、社会学級の開設や運営にあたり、ご尽力を賜っておりますことに対し深く感謝申し上げます。

それぞれの社会学級におきましても、企画・運営等において工夫して開設され、お陰様をもちまして多くの市民が学習活動を展開しております。

さて、近年、少子高齢化や核家族化、都市化や高度情報化の進展など社会の変化に対応しながら、生き生きと心豊かに暮らしていくためには、個々の生活課題や地域課題と向き合いながら、その解決の方策を学んだり、共に支え合ったりしていけるようなコミュニティづくりに取り組んでいくことが求められています。

このような中、「中央教育審議会の生涯学習分科会の議論の整理」（令和4年8月）では、「地域と学校の連携・協働の推進」「リカレント教育の推進」等の新しい時代の生涯学習・社会教育の広がりや充実、推進のための方策等が示されました。

また、第二次鹿児島市教育振興基本計画では、「保護者の子育てに対する理解を深めるための学習機会を充実するとともに、父親の子育て参加を促進します。」「小学校区においては、成人学級等を開設し、地域の特色に応じた魅力あるプログラムの開発をはじめ、地域の人材育成につながる学級の運営がなされるよう適切な支援を行い、地域の教育力の向上を図ります。」などを盛り込み、中でも、各年齢期や地域の実態に応じた主体的な学習が展開される社会学級については、生涯学習推進の重要な一翼を担っていると考えております。

今回作成しました「社会学級の手引き」は、年間の開催時間や学習内容の見直しなど、社会学級の課題等について整理し、スムーズな学級運営を行うための参考事例を掲載しています。また、事務の効率化を図るために年間を通して必要な書類を様式集として巻末にまとめましたので、ご活用いただければ幸いです。

皆様の主体的な学習活動により、心豊かで生きがいのある人生が送られることを願っております。一年間どうぞよろしく申し上げます。

令和6年4月

鹿児島市教育委員会

目 次

1	社会学級について	1～2
2	ねらい	3
3	実施機関	3
4	運営について	3
5	社会学級の概要	3
6	学級開設上の留意点	
	(1) 学級開設前の手続き	4
	(2) 具体的な動き	4
	(3) 学習活動実施後の手続き	5
	(4) 学級終了後	5
	(5) 講師謝金の事務手続き	6
7	運営の実際	
	(1) 運営方針	6
	(2) 学級委員会	6
	(3) 学級生の係分担（例）	6
8	学習計画の立て方（例）	7
9	みんなで学ぶ学習の進め方（例）	8
10	提出書類等	
	(1) 開設にあたって提出する書類	9
	(2) 実施後に提出する書類	9
	(3) 年度途中で提出する書類	9
	(4) 必要に応じて使用する書類	9
11	主な学習内容について	10
12	学習計画を立てる時の参考例	
	(1) 小学校家庭教育学級	11
	(2) 中学校家庭教育学級	12
	(3) 父親セミナー	13
	(4) 成人学級	14
	(5) 女性学級	15
13	応援します「社会学級」～学習に利用できる施設等～	16～18
14	運営についてのQ&A	19～20
※	様式集	21～38

1 社会学級について

鹿児島市では、市民が、生涯においていつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に生かされるような生涯学習社会の実現のために、「市民一人 一芸・一学習・一スポーツ」というモットーのもと、鹿児島市の生涯学習の充実を図り、生涯学習に支えられた市民参画のまちづくりを推進しています。

その中で、社会学級は、市民一人ひとりが生涯にわたって生きがいを持ち、心豊かな生活を送れるよう、多様化・高度化するニーズや現代的課題、ライフステージ等に対応した学習機会の充実の場になると捉えています。

また、社会学級は、学びを通じた人づくり・地域づくりを推進するため、地域社会に蓄積された多くの知恵を生かし、地域の活動で中核となり活躍する社会教育関係指導者やリーダーの育成、人と人とのつながりを深めるネットワークの形成の場となっています。

【ライフステージにおける学習活動の場】



西紫原中学校 家庭教育学級 「開講式・スマートフォンの使い方について」

【いいこといっぱい 社会学級！】

同じ地域に
暮らす仲間
子育てをする仲間 があります。

社会学級で
暮らしをより豊かに
アップデート！



活動を持続させるためには、みんなで「楽しむ」ことが一番！

【学習意欲を高めるためのポイント】

- ① 安心して学級生が語り合える場づくりをしましょう。(豊かな人間関係づくり)
- ② 活動の目標と見通しを持ちましょう。(年間学習計画・一コマの学習)
- ③ 学級生のニーズや時代の要請に応じて学習内容を工夫しましょう。
 - ・ 学級生アンケートや既知の事項のアップデートなど
- ④ 学習の振り返りをしましょう。(学習の価値づけ)
 - ・ どんなことが分かったか、できるようになったか、生かしていきたいことなど

学級生全員で運営に関わりながら、楽しんで運営していきましょう。

2 ねらい

心豊かで生きがいのある人生を送るために、市民自ら、社会生活上の様々な課題について学習する中で、必要な教養や知識・技能を習得するとともに、その成果をまちづくりなどに生かすことのできる力を育むために社会学級を開設します。

3 実施機関

- 【家庭教育学級】 市立小学校および中学校
- 【父親セミナー】 市立中学校
- 【成人学級】 地域コミュニティ協議会
- 【女性学級】 地域コミュニティ協議会



4 運営

各学級とも、学級生が主体となり、運営・実施していくことが大切です。

- (1) 家庭教育学級・父親セミナー
 - 小・中学校と連携を図り、その指導・助言をもとに運営
- (2) 成人学級・女性学級地域
 - コミュニティ協議会と連携を図り、その指導・助言をもとに運営

5 社会学級の概要

	家庭教育学級	父親セミナー	成人学級	女性学級
目的	家庭教育の重要性を認識し、家庭環境や家庭教育のあり方についての理解を深め、健全な子どもの育成や親としての資質の向上を図ります。	父親の家庭教育への参画が重要であることを認識するとともに、家庭及び地域社会における父親の役割についての理解を深めます。	社会の変化に対応できる能力や豊かな社会生活に必要な教養の向上を図ります。	女性の自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、その資質や能力の向上を図ります。
主な対象者	小・中学生の保護者	中学生の保護者	市民	
主な学習場所	学校・校区公民館・地域公民館・自治公民館 など			
学級人数	学級の実態に応じて設定			
学習回数	学級の実態に応じて設定			
学習期間	学級の実態に応じて設定			
実施方法	単独実施・他学級との合同実施・他機関の研修会等への参加可			
学習内容	人権に関する内容 と 学級生の計画による内容(参考:P10~15)			
学習時間	30分~2時間 ※講師謝金が必要な学習は1時間から支払いの対象(参考:P6)			

【運営上の留意点】

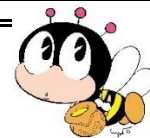
- ① 講師謝金 各学級6時間分（1時間あたり3,000円、総額18,000円）

※ 謝金不要の学習：市政出前トーク、地域別人権問題研修会、人権啓発講演会、地域別家庭教育研修会、サンエールフェスタ 等の活用を！

- ② 学級の統合

「父親セミナー」は、「家庭教育学級」と統合することができます。名称は、自由につけることができます。（例）「〇〇中家庭教育学級」「〇〇セミナー」など
また、おやじの会と父親セミナーを統合した活動を行うこともできます。おやじの会の団体指定を受けて、活動補助金もご活用ください。

「成人学級」と「女性学級」は、統合することができます。名称は、自由につけることができます。（例）「□□いきいき学級」「□□学苑」など。



6 学級開設上の留意点

(1) 学級開設前の手続き

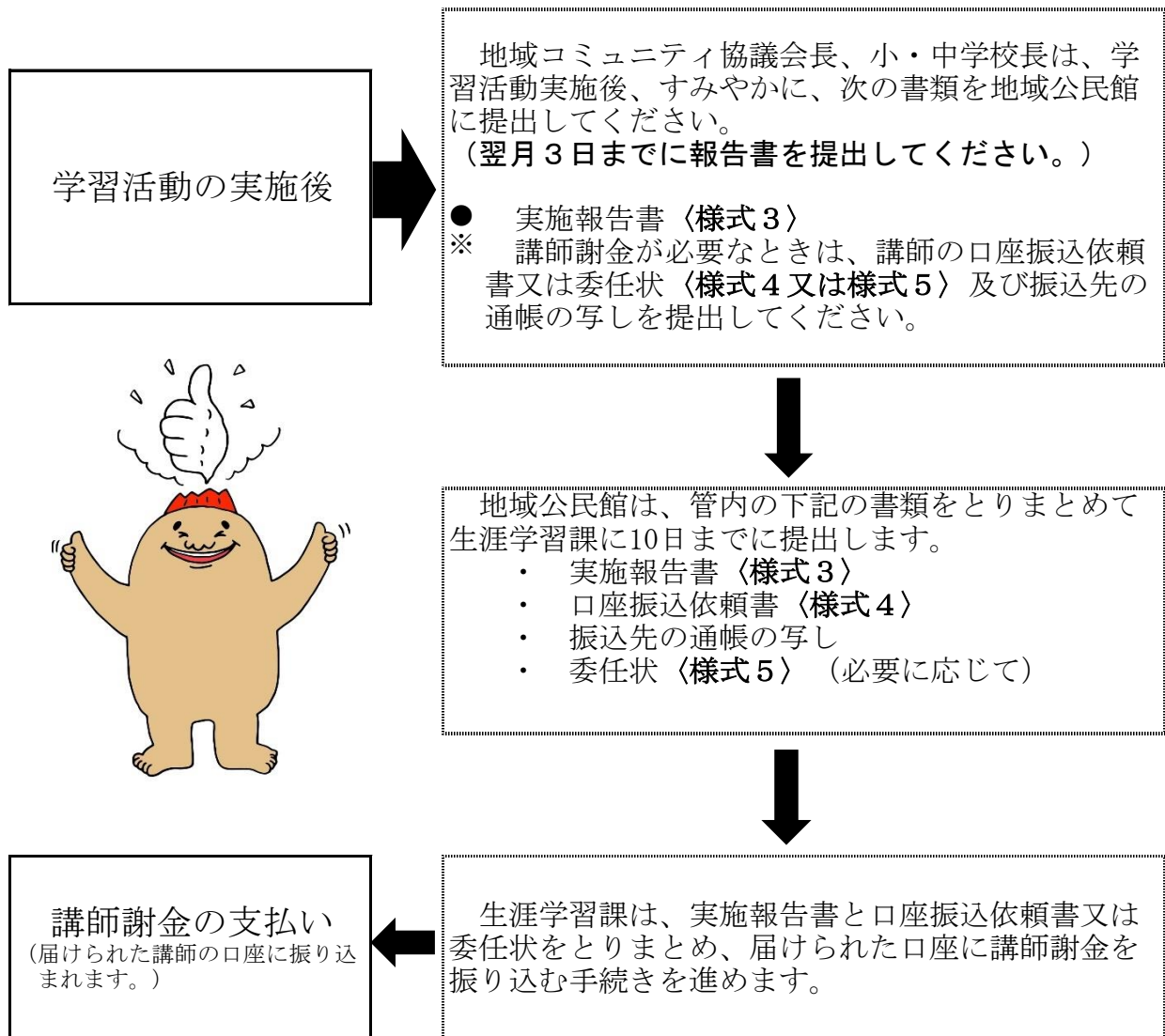
開設の依頼（4月）

- 地域コミュニティ協議会長、小・中学校長は、学級開設の手順にそって学級を開設する。
- ※ 社会学級未開設の地域コミュニティ協議会長、小・中学校長は、社会学級開設のねらいを達成するために、学級の開設に努める。

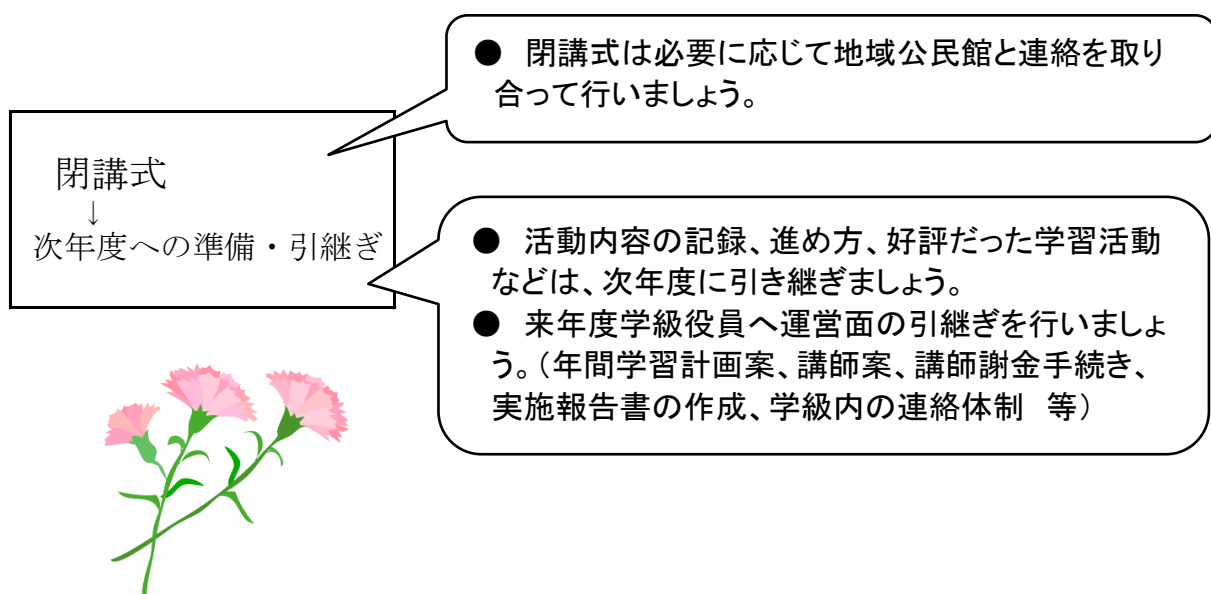
(2) 具体的な動き（例）

区分	時期	各社会学級	地域公民館	生涯学習課
学級開設までの流れ	4月上旬	○ 社会学級のねらいに基づき、本手引きを参考にして、募集要項を作成し、校区に居住する対象者に広報し、学級生を募集する。	○ 学級運営を支援する。 ○ 学習計画作成の助言をする。	
	4月中旬	○ 役員の決定 ○ 前年度の反省、学級生のニーズ、手引き等を参考にしながら、要求課題や必要課題のバランスを考慮した年間学習計画を作成する。	○ 学級運営等の相談の助言をする。 ○ 講師情報の提供をする。	
	5月下旬	○ 地域コミュニティ協議会長、小・中学校長は、次の書類を地域公民館に提出する。 ① 社会学級開設届出書 <様式1> ② 年間学習計画 <様式2> ※ 計画は後日提出可	○ 管内の学級開設関係書類をとりまとめて生涯学習課に提出する。	○ 提出された開設届を受けて、学級開設を許可する。
学級運営の流れ	6月上旬	○ 開講式・第1回学習 開講式は、地域公民館と連絡を取り合って行う。	○ 必要に応じて、開講式に参加する。	
	6月中旬	○ 学習活動実施後は、すみやかに次の書類を地域公民館に提出する。 ① 実施報告書 <様式3> (翌月の3日までに) ② 口座振込依頼書又は委任状 (謝金要の時のみ) <様式4又は様式5> ③ 通帳の写し ※ 第2回以降も同様の流れ	○ 書類のとりまとめについて学級運営等の相談の助言をする。 ○ 講師情報の提供をする。	○ 実施報告書や口座振込依頼書等を取りまとめ、謝金が必要なものについては、届けられた口座に振り込む手続きをする。
	2月上旬	○ 閉講式・最終日 閉講式は、地域公民館と連絡を取り合って行う。	○ 必要に応じて、閉講式に参加する。	○ 実施内容の確認をする。
	2月下旬	○ 活動内容の記録、進め方、学習活動等について反省し、次年度に引き継ぐ。		
	3月下旬			○ 実施報告のまとめ

(3) 学習活動実施後の手続き



(4) 学級終了後・引継ぎ



(5) 講師謝金の事務手続き

講師謝金の事務手続きについては、次の点に十分留意して適正に処理してください。

- ア 謝金は、1講座につき一人分です。
- イ 講師謝金は、本来講話等をされた講師に対する謝金として支払われるものであり、学級運営補助として支払われるものではありません。
- ウ 教育施設・事務所等における研修で、学級生の引率・進行等にたずさわった学級長等への講師謝金の振込は認められません。
- エ 講師謝金は、1講座1時間または2時間を目安に支払いの対象とします。学習計画等の話合いや学習のまとめ総括等でわずかな時間、話をしたものなどは対象となりません。
 - ※ 「学習内容等」の欄に講話の内容（箇条書き可）や役割を明記してください。
 - ※ 1講座が2時間を超えたり昼食時間を挟んだりする場合は、計画の段階で地域公民館を通じて生涯学習課に相談してください。
 - ※ 講師が動画配信した場合（事前録画、生配信も含む）についても支払いの対象とします。
- オ 学校職員が講師謝金を受領する場合には、校長が事前に兼職（兼業）の許可申請手続きを行ってください。〔参考：鹿児島市立学校管理規則（「教育関係事務必携」P58, 59）〕

7 運営の実際

(1) 運営方針

学級ごとに、学級委員会を構成し、学級生の意見を尊重しながら、自主的に運営しましょう。

(2) 学級委員会

ア 構成

地域コミュニティ協議会長（成人学級・女性学級）、学校長（家庭教育学級・父親セミナー）、学級長、副学級長、書記、会計、委員等で構成します。

イ 役割

- (ア) 学習計画や行事計画の策定と学級活動の運営
- (イ) 学級生の募集
- (ウ) 学習活動の反省評価
- (エ) 各係間の連絡調整

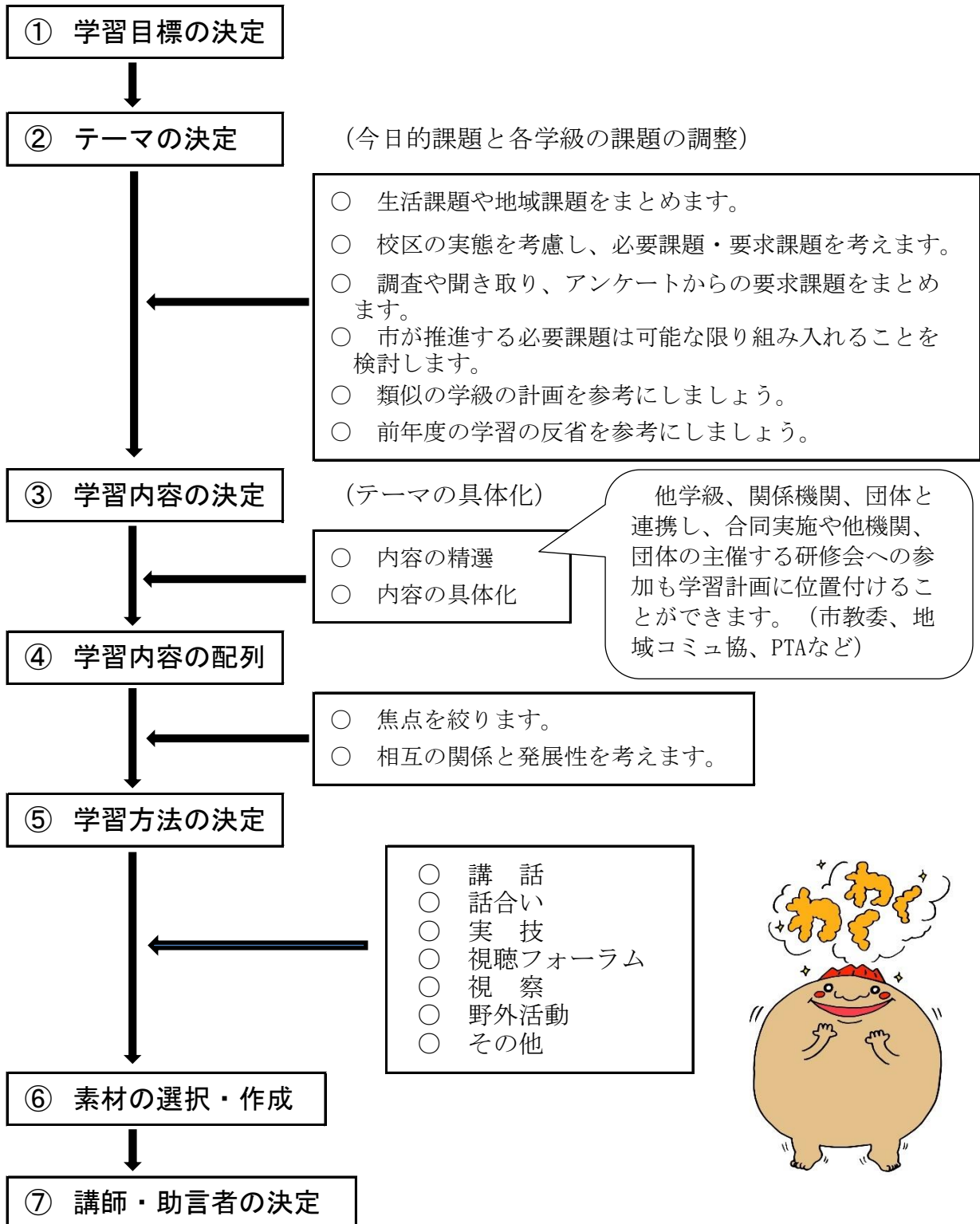
(3) 学級生の係分担（例）

すべての学級生が係を分担し、学級運営にあたりましょう。

学級長	企画、関係機関・講師との連絡等
副学級長	学級長の補佐、接待、渉外等
書記	実施報告書の作成提出、日誌の記録等
会計	口座振込依頼書の受領と提出、資料代の集金や出納等
出席係	出席簿の記録等
会場係	会場準備、あとかたづけ等
広報・連絡係	学級生への連絡・広報等
レクリエーション係	レクリエーション等
視聴覚係	DVD・ビデオ、プロジェクター等の準備と操作等

8 学習計画の立て方（例）

学習計画を立てる際は、学級生の要望を取り入れながら学級委員会等でよく検討しましょう。必要に応じて地域公民館に相談してください。

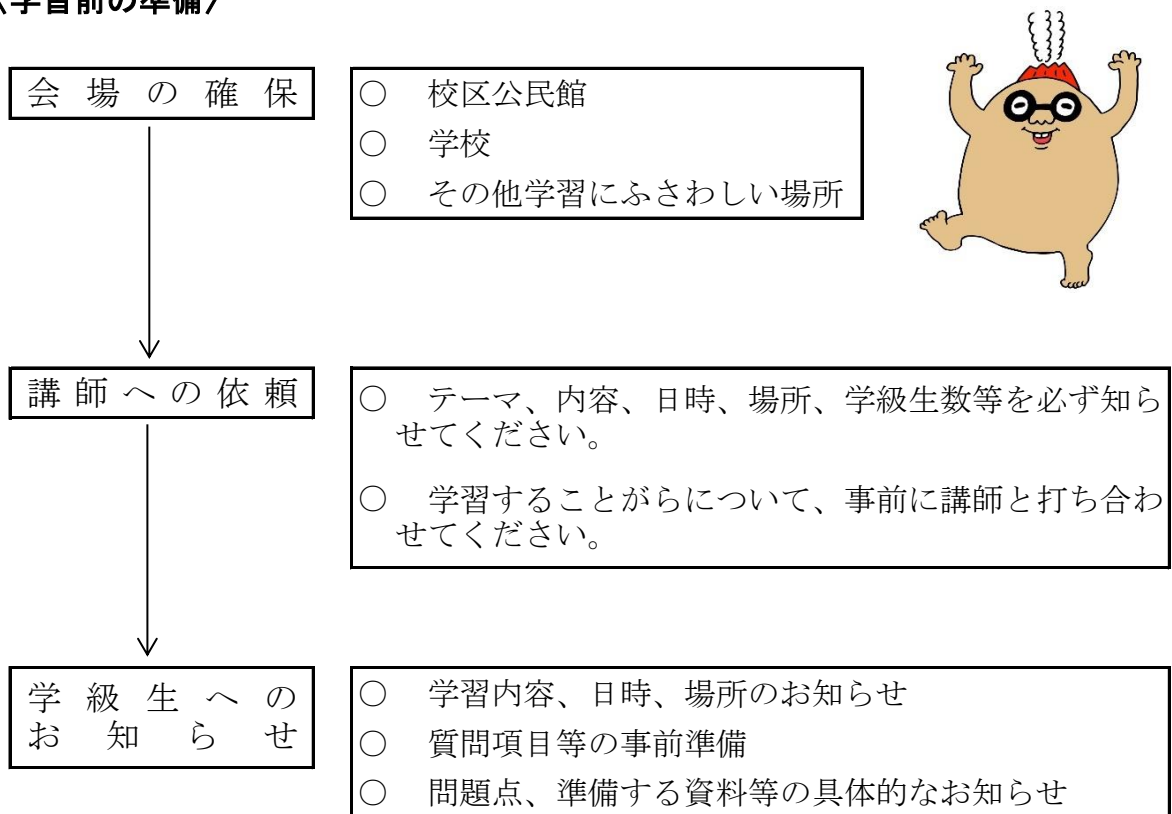


※ 学習を自分のものにするために

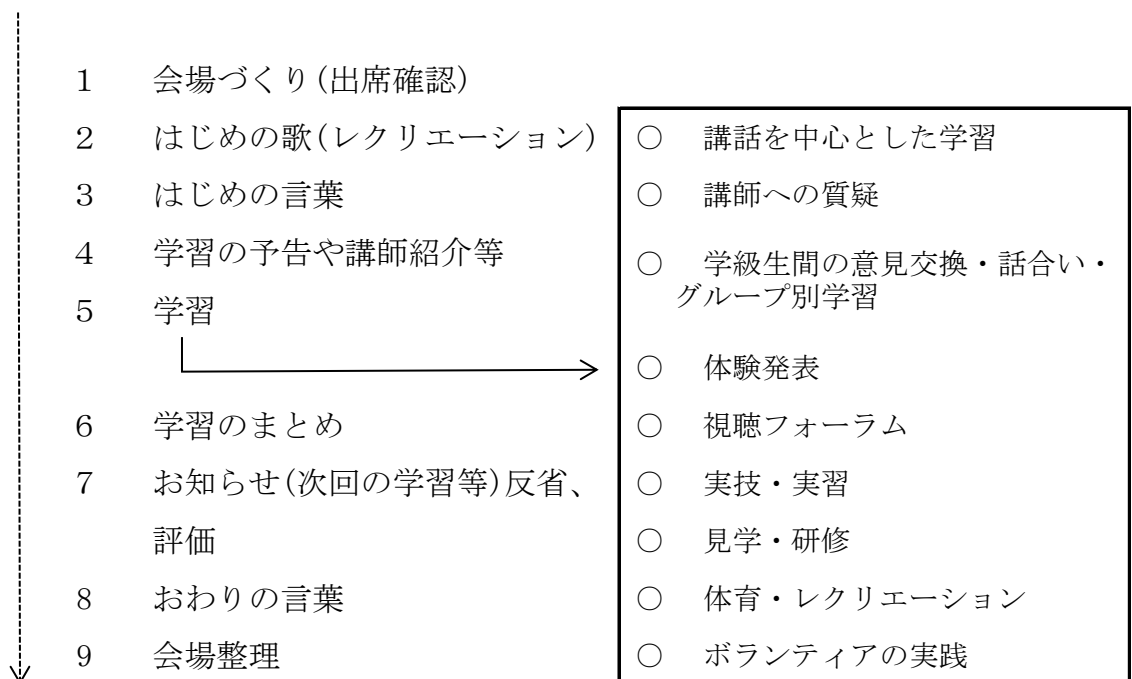
- ア 事前に学習内容を把握し、問題意識をもって学習に参加しましょう。
- イ 学習に必要な資料は、できるだけ工夫して学習者自身でつくりましょう。
- ウ 積極的に質問したり、意見を述べたりして、学習に参加しましょう。
- エ 学習成果を日常生活やグループ・団体活動の中で生かしましょう。

9 みんなで学ぶ学習の進め方（例）

〈学習前の準備〉



〈学習の進め方〉



〈反省と評価〉

- 期日、時間は適切だったか。
- 準備や広報は適切だったか
- 開会・閉会の時刻は守られたか。
- 時間配分は適切だったか。
- 学習の内容は適切だったか。
- 学級生の学習意欲は高まったか。
- 学級生の課題解決が図られたか。
- 役割分担は適切だったか。
- 学級生の親睦が図られたか。

10 提出書類等

巻末に様式集としてまとめてあります。また、鹿児島市HP（ホームメニュー＞文化・スポーツ＞生涯学習＞校区社会学級）にもPDF等で掲載してあるので利用してください。

(1) 開設にあたって提出する書類

- 社会学級開設届出書 **様式 1**
- 年間学習計画 **様式 2 - 1 ~ 3**

※ 提出期限（年間学習計画は後日提出可）

各学級から学校・地域コミュニティ協議会へ	令和6年5月31日（金）
学校・地域コミュニティ協議会から地域公民館へ	令和6年6月7日（金）
地域公民館から生涯学習課へ	令和6年6月14日（金）

(2) 実施後に提出する書類

- 実施報告書 **様式 3**
 - ※ 提出期限 地域公民館へ 講座実施翌月の3日まで
- 口座振込依頼書または、委任状 **様式 4 または様式 5**
 - ※ 講師謝金が必要なときに、生涯学習課への提出が講座実施日から2か月以上遅れた場合は、校長名、または協議会長名で「遅延理由書」（様式は特にありませんが、提出が遅れた理由をお書きください。）を提出してください。

(3) 年度途中に提出する書類

- 社会学級修了証書 必要枚数報告書 **様式 6**
(家庭教育学級・父親セミナーの場合)

各学級から小・中学校へ	令和6年11月15日（金）
小・中学校から生涯学習課へ（配布物管理）	令和6年12月6日（金）

- 社会学級修了証書 必要枚数報告書（成人・女性学級の場合） **様式 6**

各学級から地域コミュニティ協議会へ	令和6年11月15日（金）
地域コミュニティ協議会から地域公民館へ	令和6年11月29日（金）
地域公民館から生涯学習課へ	令和6年12月6日（金）

- 社会学級協力者謝金・金融機関口座届出書 **様式 7 または様式 8**

各学級から学校・地域コミュニティ協議会へ	令和6年12月13日（金）
学校・地域コミュニティ協議会から地域公民館へ	令和7年1月10日（金）
地域公民館から生涯学習課へ	令和7年1月24日（金）

(4) 必要に応じて使用する書類

- 講師派遣申請書 **様式 9**
- 学級日誌 **様式 10**

※ 上記に示した提出期限に間に合わない場合は、地域公民館に連絡する。

11 主な学習内容について

(1) 人権に関する学習について（重点課題、年1回以上実施）

各学級の課題に応じて単独実施もできますが、下記の☆の講演会、研修会への参加を一コマとして学習計画に組み込むことができます。

☆ 人権啓発講演会（中央公民館）〔令和6年8月10日（土）〕

☆ 地域別人権問題研修会（各地域公民館）〔令和6年10月～12月〕

会 場	開催予定日	会 場	開催予定日
中央公民館	10月17日（木）	東桜島・桜島公民館	10月19日（土）
鴨池公民館	11月14日（木）	吉田公民館	11月30日（土）
城西公民館	11月6日（水）	喜入公民館	12月6日（金）
谷山市民会館	11月30日（土）	松元公民館	12月6日（金）
吉野公民館	10月25日（金）	郡山公民館	12月7日（土）
伊敷公民館	10月10日（木）	谷山北公民館	11月14日（木）
武・田上公民館	11月8日（金）		

※ 上記は、開催予定日です。詳しくは各地域公民館にお問い合わせください。

(2) 小・中学校家庭教育学級、父親セミナーの学習について

家庭教育の重要性を認識し、保護者として資質の向上を図るとともに、家庭の教育力を向上させるため、家庭教育について学校や各家庭で課題となっていることや学級生の知りたい内容を重点的に学習します。

【主な学習内容】

- ・ 人権に関する学習(A) ※毎年実施
- ・ 基本的な生活習慣の確立に関する学習(B)
- ・ 青少年を取り巻く携帯電話・スマートフォン事情等に関する学習(C)

※ (B)(C)は、毎年実施ではありません。

急速に変化し続ける内容です。学習計画への位置づけをご検討ください。

正解がわからないから、みんなで語って共に学べる機会にしましょう。

生命尊重や心の教育について 休みの日の過ごし方について
 「性に関する指導」について 親子のふれあいについて
 家庭学習の進め方について 特別支援教育について
 学校教育について 環境や福祉に関する学習について などなど
 地域別家庭教育研修会への参加を一コマとして

〈参考〉他団体の研修会も生かして効率的な学習計画を！

市P連主催研修会：「PTA研修会」「情報端末機器に関する研修会」
 「高校PTA研修会」「特別支援学級関係保護者研修会」など

充実した研修会で、
 予算も時間も節約で
 きます！

(3) 成人・女性学級について

時代の変化に積極的に対応し、創造性豊かで、生きがいのある暮らしや地域づくり及び地域の教育力の向上に役立つ内容を学習します。

【主な学習内容】

- 人権に関する学習(A) ※毎年実施
- 振込め詐欺等の消費トラブルに関する学習(B)

※ (B)は、毎年実施ではありません。

何度も受講しているけど、感覚をチェック！
 定期安全点検のつもりで計画しませんか。

情報化と時事問題について 環境問題について、健康な生活について などなど

〈参考〉他団体の研修会も生かして効率的な学習計画を！

サンエール講座・地域公民館講座（消費者問題など）

充実した研修会で、講師選定・
 日程調整の手間も省けます！

12 学習計画を立てるときの参考例

(1) 小学校家庭教育学級（提出様式はP24）

テーマ	分類	学 習 内 容	学習方法	講師・助言者等	備 考
開講式 家庭教育の役割と重要性		家庭教育学級の意義 家庭教育学級の役割と重要性 年間学習計画	講話 話し合い	校長・教頭 地域公民館職員 学級委員	学習内容要望 アンケート
人権に関する学習 ※年1回以上実施	A	基本的人権の尊重と人間愛 人権問題の現状と課題 社会生活と人権問題	講話 ビデオ視聴 話し合い	学識経験者 県人権同和対策課職員 社会教育指導者 教員等	地域別人権 問題研修会 ビデオ教材
基本的な生活習慣の確立に関する学習	B	子どもの成長と基本的な生活習慣の確立（食育、読書、健康・体力づくりなど）	講話 話し合い	学識経験者 子育て体験者 養護教諭等	人権学習 県や市の行政関係者
青少年を取り巻く携帯電話・スマートフォン事情等に関する学習	C	携帯電話・スマートフォン事情、有害情報（振込め詐欺、架空請求等）から子どもを守るために	講話 話し合い ビデオ視聴	警察署員等	情報教育関係 パソコン
生命尊重		生命尊重の心をどのようにして育むか 生命誕生と命の育み	講話 ビデオ視聴 話し合い	助産師等 養護教諭 教員等	
児童期の心理と育て方		乳幼児期から児童期の心の成長 児童期の子どもの心の変化と親としての関わり方	講話 事例発表 話し合い	心理学者等 学識経験者 教員等	地域別家庭教育研修会
健康と体力づくり	B	子どもの身体の発達 子どもの体力の現状と課題 健康で丈夫な体力づくり	講話 事例発表 話し合い	教員等 保健体育指導者 校医等	調査統計資料 体力現状等
性に関する指導		身体発達と性の問題 学校での性に関する指導の現状 家庭での性に関する指導のあり方	講話 話し合い 性に関する指導参観	教員等 養護教諭等 学識経験者	学校参観 性に関する指導 授業参観
読書指導	B	読書活動の意義と実際 本好きな子どもの育て方 読み聞かせの実際	講話 読み聞かせ 話し合い	図書館司書等 読書指導担当教員等 読み聞かせ関係者	読書指導関係 読み聞かせ 等体験学習 図書館見学
社会性の育成		社会活動に積極的に参加する子どもの育て方	講話 体験発表 話し合い	子育て経験者 地域有志指導者	地域行事関係 社会性を育てる行事等
環境学習		環境問題についての理解 ゴミ収集とリサイクル 環境を守る身近な実践	ビデオ視聴 講話 話し合い	環境関係職員 施設職員 行政担当者	環境 施設見学
閉講式 学級運営の反省		学んだことの役立て方 学習活動の反省と評価 今後の学習計画	講話 事例発表 話し合い	校長・教頭 地域公民館職員 学級委員	次年度学習計画立案

(2) 中学校家庭教育学級（提出様式はP24）

テーマ	分類	学 習 内 容	学習方法	講師・助言者等	備 考
開講式 家庭教育の役割と重要性		家庭教育学級の意義 家庭教育学級の役割と重要性 年間学習計画	講話 話し合い	学校長・教頭 地域公民館職員 学級委員	学習内容要望 アンケート
人権に関する 学習 ※年1回 以上実施	A	基本的人権の尊重と人間愛 人権問題の現状と課題 社会生活と人権問題	講話 ビデオ視聴 話し合い	学識経験者 県人権同和对策課職員 社会教育指導者 教員等	地域別人権 問題研修会 ビデオ教材
基本的な生活習慣の確立に関する学習	B	子どもの成長と基本的な生活習慣の確立（食育、読書、健康・体力づくりなど）	講話 話し合い	学識経験者 子育て体験者 養護教諭等	人権学習 県や市の 行政関係者
青少年を取り巻く携帯電話・スマートフォン事情等に関する学習	C	携帯電話・スマートフォン事情、有害情報（振込め詐欺、架空請求等）から子どもを守るために	講話 話し合い ビデオ視聴	警察署員等	
子どもの夢と進路問題		子どもの夢とやる気の育て方 中学生の進路問題 進路選択の諸問題	講話 事例発表 話し合い	学校長・教頭 進路指導教員等 学識経験者	進路情報資料 進路指導計画
思春期の心理と育て方		中学校における生徒指導の現状と課題 中学生期の心の成長 思春期の心と親の対応	ビデオ視聴 事例発表 話し合い	生徒指導主任等 養護教諭等 学識経験者	地域別家庭教育研修会 こころの言の葉
中学生の健康と性に関する指導		中学生の心身の発達 中学生と性問題 家庭における性に関する指導	講話 ビデオ視聴 事例発表	校医等 養護教諭等 学識経験者	ビデオ教材
環境学習		ゴミとリサイクルの学習 地球環境についての学習 環境ボランティアの実践	ビデオ視聴 施設見学 実践活動	行政担当者 教員等 環境関係実践家	環境学習 施設見学
高齢者を敬愛する心の育成		郷土の文化や伝統についての理解、高齢者を敬う態度と実践力の育成等	ビデオ視聴 話し合い 実践活動	地域の高齢者等 社会教育指導者 行政担当者	福祉学習 地域の高齢者との交流 施設見学
生命尊重		生命尊重の心の育成 生命誕生と命の尊厳 生命を尊重した家庭教育	講話 ビデオ視聴 話し合い	助産師等 学識経験者 社会教育指導者	
家庭学習		家庭学習の雰囲気づくり 学習の方法と習慣づくり 学習計画と実行	事例発表 講話 話し合い	担当教員等 校長・教員等 学校教育関係者	
社会性の育成		社会参加の意義 社会参加活動の実際 社会参加活動体験	講話 体験発表 話し合い	地域公民館職員 地域ボランティア	
閉講式 学級運営の反省		学んだことの役立て方 学習活動の反省と評価 今後の学習計画	講話 事例発表 話し合い	校長 地域公民館職員 学級委員	次年度学習計画立案

(3) 父親セミナー（提出様式はP25）

テーマ	分類	学 習 内 容	学習方法	講師・助言者等	備 考
開講式 父親の役割Ⅰ		父親セミナーの意義 家庭教育における父親の 役割と重要性 年間学習計画立案	講話 話し合い	校長 教頭	学習内容要望 アンケート
人権に関する 学習 ※年1回以上 実施	A	基本的人権の尊重と人間愛 人権問題の現状と課題 社会生活と人権問題	講話 ビデオ視聴 話し合い	学識経験者 県人権同和対 策課職員 社会教育指導者 教員等	地域別人権 問題研修会 ビデオ教材 人権学習
父親の役割Ⅱ		中学生の特質と父親の役割	講話 話し合い	社会教育指導者 教員等	県や市の 行政関係者
父親の役割Ⅲ		中学生の基本的なしつけ しつけと父親の姿勢 生命の尊重	講話 話し合い	学識経験者 社会教育指導者 教員等	
生徒指導		情報モラル、携帯電話・ スマートフォン、ネット 事情 中学生の現状と課題	講話 話し合い	学識経験者 社会教育指導者 教員等	生徒や青少 年の生活実 態資料
夢を育む活動		中学生と進路指導 進路選択と父親の役割	講話 話し合い	学識経験者 卒業生 教員等	進路情報資料
心の問題		中学生の心身の発達 思春期の子どもと父親の 対応	講話 話し合い	心理学者 学識経験者 養護教諭等	地域別家庭 教育研修会 こころの言の葉
環境学習		地球環境に関する学習 身近な環境に関する学習	講話 体験学習	環境未来館職員 学識経験者等	
閉講式 学級運営の反省		学習活動の反省と評価	講話 話し合い	校長 教頭	次年度学習計画立案

(4) 成人学級（提出様式はP26）

テーマ	分類	学 習 内 容	学習方法	講師・助言者等	備 考
開講式 生涯学習の考え方		生涯学習と成人学級 年間学習計画 運営の方法及び役割分担	講話 話し合い	地域コミュニティ 協議会長 地域公民館職員	年間学習計画立案 前年度学習成果
人権に関する 学習 ※年1回 以上実施	A	基本的人権の尊重と人間愛 人権尊重の精神 社会生活と人権問題	講話 ビデオ視聴 話し合い	学識経験者 県人権同和対策課職員 社会教育指導者 教員等	地域別人権 問題研修会 ビデオ教材
消費者教育に 関する学習	B	様々な架空請求 消費者金融の借金の利息 クーリングオフや訪問販 売等への対応	講話 ビデオ視聴	学識経験者 警察署員等	人権学習 県や市の 行政関係者
情報化と時事問題		マスコミの話題と社会情勢	講話 話し合い	マスコミ関係者 学識経験者	情報機器 パソコン 携帯電話 ビデオ (題名記入)
環境問題		地球と環境問題 ごみ分別などの身近な実践 環境汚染	講話 実習 見学 ビデオ視聴	各施設職員 学識経験者 行政担当者	施設参観
暮らしと法律		日常生活と法律 民法、遺産と相続 遺言と証人	講話 話し合い	学識経験者	
健康な生活		生活習慣病と食生活の改善 長寿と食生活 健康体操 応急手当と人工呼吸	講話 話し合い ビデオ視聴	保健所職員 栄養士 医師 学識経験者	
税金と暮らし		税金の仕組み 納税と税金の使途	講話 話し合い	税務署職員 学識経験者 市職員	
住みよい町づくり		地域づくりと住民参加 校区公民館活動と成人学級 地域の教育力と青少年活動	講話 実習 話し合い ビデオ視聴	関係機関団体 職員	地域行事案内書
郷土見聞		郷土の歴史 校区の歴史と史跡めぐり 郷中教育 郷土の文化財	講話 話し合い 見学	郷土史家 学識経験者	史跡・名所 旧跡案内書 リーフレット
明るい家庭づくり		家族の人間関係 家庭の役割 育児は育自 老後の生活設計	講話 話し合い ビデオ視聴	関係機関団体 職員	
趣味と人生		趣味活動と創作 趣味と生きがい 陶芸 民芸品 さつま狂句 草木育て 菜園等	講話 実習 話し合い ビデオ視聴	有志指導者 実技経験者	パンフレット
ボランティア活動		校区内清掃 校区内安全点検	講話 実習 話し合い ビデオ視聴	有志指導者 実技経験者	
安心・安全な生活		防災学習、避難所の運 営、防災マップ作成、防 犯学習、交通教室	講話 実習 話し合い ビデオ視聴	行政担当者 消防署員 警察署員	パンフレット
閉講式 学級運営の反省		学習活動の反省と評価 次年度への希望と学習成果発表 学習成果の実践	講話 話し合い	地域コミュニティ 協議会長、校長、 地域公民館職員	次年度学習計画立案

(5) 女性学級（提出様式はP26）

テーマ	分類	学 習 内 容	学習方法	講師・助言者等	備 考
開講式 女性学級の役割と重要性		女性学級の意義 女性学級の役割と重要性	講話 話し合い	地域コミュニティ協議会長 地域公民館職員	年間学習計画立案 前年度学習成果
人権に関する学習 ※年1回以上実施	A	基本的人権の尊重と人間愛 人権問題の現状と課題 社会生活と人権問題	講話 ビデオ視聴 話し合い	学識経験者 県人権同和対策課職員 社会教育指導者 教員等	地域別人権問題研修会 ビデオ教材 人権学習
消費者教育に関する学習	B	様々な架空請求 消費者金融の借金の利息 クーリングオフや訪問販売等への対応	講話 ビデオ視聴	学識経験者 警察署員等	県や市の行政関係者
消費生活と税金		家庭の電気・ガス・水道に関する一般知識 税金の仕組みと使徒	講話 話し合い	消費問題研究家 電気・ガス会社関係者 学識経験者	
情報化と時事問題		マスコミの話題と社会情勢	講話 話し合い ビデオ視聴	マスコミ関係者 学識経験者	情報機器 パソコン 携帯電話
ボランティア活動		ボランティア活動の意義 ボランティア活動の進め方	講話 話し合い 実習	ボランティア実践家 学識経験者	
健康と食生活		生活習慣病と健康管理 更年期障害 食品公害と食品添加物等	講話 話し合い	保健所職員 料理研究家 学識経験者	テキスト資料
ライフサイクル		ライフサイクルと私の生き方 生涯学習 マナー・エチケット・読書・芸術	講話 話し合い 事例発表	有志指導者 学識経験者	
明るい家庭や社会づくり		家族の人間関係 家族の役割 私の社会参加活動 長寿社会と敬老	講話 話し合い 実習	関係機関団体職員 教員	
生活文化と女性		郷土の料理 昔の遊びと遊具 鹿児島島の文化	講話 話し合い ビデオ視聴	郷土料理研究家 有志指導者	
環境問題		社会生活と環境 ごみ分別などの身近な実践	講話 見学 ビデオ視聴	各施設職員 学識経験者	施設参観
働く親と生活		健康管理のための生活設計 働く親と子どもとのかかわり 職場と家庭・母親の立場	講話 話し合い ビデオ視聴	有志指導者 学識経験者	
郷土見聞		郷土の歴史 校区の歴史と史跡めぐり 郷中教育 郷土の文化財	講話 話し合い 見学	郷土史家 学識経験者	史跡・名所 旧跡案内書 リーフレット パンフレット
趣味と人生		趣味活動と創作 趣味と生きがい 陶芸 民芸品 さつま狂句 草木育て 菜園等	講話 実習 話し合い ビデオ視聴	有志指導者 実技経験者	
閉講式 学級運営の反省		学習活動の反省と評価 次年度への希望と学習成果発表 学習成果の実践	講話 話し合い	地域コミュニティ協議会長 地域公民館職員	次年度学習計画立案

13 応援します「社会学級」～学習に利用できる施設等～

お気軽にお問い合わせ
合わせください。

〈人材リスト〉

- 鹿児島市のホームページに各分野における講師を紹介しています。連絡先がある場合は、直接お問い合わせください。



〈施設〉

- 詳しくは「かごしま暮らしのガイド」「市民便利帳」をご覧ください。直接、施設もしくはお近くの地域公民館、生涯学習課（TEL 813-0851）にお問い合わせください。 ※ 下欄に一部紹介します。



〈市政出前トーク〉

- くらしに関する学習については、市政出前トーク（市役所職員による出前講座、無料）を行っています。



サンエールかごしま

（生涯学習プラザ・
男女共同参画センター）

「サンエールかごしま」は、生涯学習プラザと男女共同参画センターとの複合施設で、21世紀にふさわしい魅力ある学習と交流の場を提供するなど、市民の皆さんの生涯学習と男女共同参画に関するさまざまな活動を支援しています。

● 問合せ：

生涯学習課

TEL 813-0851

男女共同参画推進課

TEL 813-0852

■ 場 所 … 荒田一丁目4-1

■ 開館時間 … 火～土の9時30分～21時30分、日・祝日の9時30分～18時

■ 休 館 日 … 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

■ 駐 車 場 … 3時間まで無料（利用証明が必要）その後1時間ごとに100円

※ 改修工事等の関係で令和7年2月まで使用できません。

■ 施設予約

・ 講堂（ホール）…使用日の属する月の7か月前の月の初日から

※ 改修工事等の関係で令和7年2月まで使用できません。

・ 講堂以外…使用日の属する月の3か月前の月の初日から

※ 電話予約のほか、公共施設予約システムによる予約（利用者登録が必要）もできます。

■ 登録団体

生涯学習や男女共同参画に関する活動を行っている一定要件を満たす団体を生涯学習プラザ、男女共同参画センターの登録団体として認定します。（登録すると使用料の減免があります。）

地域公民館

● 問合せ：14地域公民館

・ 市内には14の地域公民館があり、生涯学習の場として各種講座等を開いています。

・ 家庭教育学級や成人学級、女性学級、父親セミナー等市民の皆様の自主的な学習活動の場として利用できます。

※ 各地域公民館には家庭教育学級や成人学級、女性学級、父親セミナー等を担当する社会教育指導員がおり、学習活動を支援しますのでお気軽にご相談ください。

・ 開館時間、利用申込み等は、それぞれの公民館にお問い合わせください。

地域公民館	電話番号	所在地
中央公民館	224-4528	山下町5-9
鴨池公民館	252-5756	鴨池2丁目32-6
城西公民館	224-6993	草牟田1丁目21-8
谷山市民会館	267-5988	谷山中央3丁目383-16
吉野公民館	244-2566	吉野4丁目4-3
伊敷公民館	220-1866	伊敷5丁目7-40
武・田上公民館	281-0698	西別府町3116-127

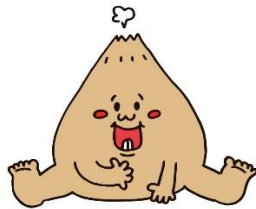
地域公民館	電話番号	所在地
東桜島公民館	221-2328	東桜島町863-1
吉田公民館	294-1219	本城町1696
桜島公民館	293-2725	桜島横山町1722-17
喜入公民館	345-3751	喜入町7000
松元公民館	278-1312	上谷口町3366-1
郡山公民館	298-2220	郡山町168
谷山北公民館	269-6391	中山町1246-1

かごしま文化工芸村

● 問合せ：

かごしま文化工芸村

TEL 281-7175



・ 緑豊かな自然の中で、陶芸や木工芸等の創作活動をとおして、ものづくり体験や市民の皆さんの交流の場となる施設です。

・ 陶芸では、本格的な窯や乾燥室、釉薬室なども備え、だれでもつくる喜びを感じとることができる施設です。

■ 場 所 … 西別府町2758（鹿児島流通業務団地隣接地）

■ 開館時間 … 9時30分～18時

■ 休 所 日 … 火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

■ 施設内容 … 陶芸アトリエ、木工芸アトリエ、自由工房、ふれあい広場等

■ 使用料

一 般	1日につき	200円
	11枚つづり1冊につき	2,000円
児 童 ・ 生 徒	1日につき	100円
	11枚つづり1冊につき	1,000円

■ 交 通 … 南国交通バス（大峯団地方面行き）「鹿実高校前」バス停下車
徒歩5分

南国交通バス（文化工芸村行き）「文化工芸村」バス停下車 すぐ

少年自然の家

野外活動、自然観察、勤労生産活動、集団宿泊生活等の体験活動により、子どもの心身を育む施設です。

● 問合せ：

少年自然の家

TEL 244-0333

■ 宿泊定員 … 本館250人、学習棟150人、キャンプ場300人

■ 休 所 日 … 月曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

■ 場 所 … 吉野町11078-4

■ 交 通 … 南国交通バス（中別府団地行き）「少年自然の家入口」下車
徒歩15分

宮川野外活動センター

自然の中での宿泊学習、野外活動をとおして自然や仲間とのふれあいを深める野外活動施設です。

● 問合せ：

宮川野外活動センター

TEL 265-5094

■ 宿泊定員 … 宿泊棟108人、ログハウス25人

■ 休 所 日 … 月曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

■ 場 所 … 五ヶ別府町159

■ 交 通 … 鹿児島交通バス

（春山東～イオンモール鹿児島）「川口」下車
徒歩5分

【認知症に関する教育（認知症基本法第14条関係）】

・ 鹿児島市認知症支援室

TEL 808-2805

認知症という病気を正しく知り正しく学べる「認知症サポーター養成講座」を概ね10人以上のグループに対し、ご指定の日時・会場に講師を派遣し開催できます。

申込先：鹿児島市長寿あんしん相談センター本部
TEL 813-8555 FAX 813-1041



学校ICT推進センター

学校教育における情報教育に関する情報等の収集・提供を行うほか、学校教育・社会教育に関する視聴覚教材などの団体向けの貸し出しを行います。

● 問合せ：

学校ICT推進センター

TEL 227-1925

ホームページアドレス

<https://www.keinet.com/>

■ 場 所 … 教育総合センター5階（山下町6-1）

■ 開所日時 … 月～金9時～17時、土曜日9時～12時
（日曜日、祝日、年末年始は休み）

■ 利用できるもの … 視聴覚教材、機材

■ 利用できる人（団体） … 学校教育、社会教育に関係ある機関及び団体

人権教育に関する映像教材の案内（一部抜粋）

映像教材名	時間 (分)	対 象	制作年	内 容
誰もがその人らしく -LGBT- (性的少数者)	20	一 般	H29	ある企業を舞台に、LGBTをめぐる現代的な課題をとりあげ、LGBTの人の人権をどう守り、働きやすい社会にするには何が必要なのか考えていく作品
Voice!! 人権の教室 (さまざまな人権問題)	38	小学生 中学生	H29	3部構成になっており、第1部はオリンピック・パラリンピックを通して人権を考えることができ、第2部は、北朝鮮による拉致問題、第3部は子どもの人権（いじめ問題）を考えさせることができる作品
君がいるから (子ども・若者の人権)	33	一 般	H30	生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女が、コンビニエンスストアを舞台に「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていく。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり、支えあいながら、希望の種をまいていく、そんな社会の実現を目指す作品
はじめて認知症の人に 接するあなたへ (高齢者の人権)	19	高校生 一 般	H30	認知症について専門用語を使わない誰にでもわかりやすい解説と、大切なポイントに気づかせる適切なハウツー映像で、「症状についての正しい理解」と「認知症の人への接し方の基本」などの、正しい知識を自然と身につけることのできる入門編として最適な内容の作品
サラーマット ～あなたの言葉で～ (外国人の人権)	36	一 般	R元	新しく職場に来た外国人との関わりを通して、文化、言語、習慣などの「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源であること。また、助け合うことができる仲間であることについても考えることができる作品
知りたいあなたのこと 外見からはわからない 障害・病気を抱える人 (さまざまな人権問題)	21	一 般	R元	外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか、私たちにできることを共に考えていく内容の作品
話せてよかった	27	一般	R2	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案し、職場や家庭内で人権について話し合うきっかけになる内容の作品
わたしと人権 1	26	一般	R2	様々な人権を、様々な事例を通して考えることができる。 チャプター「ジェンダー」「障害者」「セクシャルハラスメント」「高齢者虐待」「同和問題」「発達障害」「こどもの虐待」「精神疾患」
君が笑っていた ソーシャルディスタ ンスの罠	23	一般	R3	新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会の隠れた差別意識、経済的・社会的に弱い立場にある人々への社会全体のまなざしの欠落を浮き彫りにした。急激に姿を変える社会の現実から、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品
いわれなき誹謗中傷と の闘い	20	一般	R3	根拠のない誹謗中傷により20年以上にもわたり大きな被害を受け、それを乗り越えていくスマイリーキクチ氏の実体験をもとに、ネット誹謗中傷の現実と対策、人権的な課題について考える。
言葉があるから	31	一般	R5	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」について考える。

14 運営についてのQ & A

1 中学校父親セミナー（保護者の学びの場）と中学校おやじの会（親子体験活動）は別々に開設・運営する必要がありますか。

(1)～(3)のいずれかの方法で開設・運営することができます。

- (1) 父親セミナーは家庭教育学級と統合し1つの学級として開設することができます。その場合、開設届の余白に「家庭教育学級として開設（合同）」とご記載ください。
- (2) おやじの会と父親セミナーを統合し、どちらかの会として、新たな名前のもとで活動することができます。
おやじの会は活動支援事業の対象になり親子体験活動の補助金を申請することができます。（年度当初に団体指定を受けてください。）父親セミナーは、講師謝金の申請をすることができます。（年度当初に開設届をご提出ください。）
- (3) 現状どおり（おやじの会、父親セミナーを別々に開設）
※ いずれの場合も各学級の名称は、オリジナルの名称にすることもできます。

2 女性・成人学級は別々に開設・運営する必要がありますか。

(1)(2)のいずれかの方法で開設・運営することができます。

- (1) 女性・成人学級を統合し、各校区に1つの学級として開設することができます。
- (2) 現状どおり（女性学級と成人学級を別々に開設）
※ いずれの場合も各学級の名称は、オリジナルの名称にすることもできます。

3 社会学級の学習回数については、どうなりますか。

各学級の裁量とします。回数の設定はありませんが、定期的に学習される場が設定されるようご検討ください。

※ 手引きP3、P10～15

4 家庭教育学級の3分野（人権、生活習慣、青少年）については、毎年実施しなくてはならないのですか。

人権は年1回以上実施してください。生活習慣と青少年も、とても大事な学習になります。学級の状況により計画に組み入れることをご検討ください。

5 講師謝金は毎回ありますか。

1学級の講師謝金予算は、総額18,000円（1時間3,000円×6時間分）です。それ以上になる場合は生涯学習課へお問い合わせください。

1～2時間程度の講話等を行った場合が謝金対象となり、1講座につき1人分です。謝金額は、1時間の場合（3000円－所得税）、2時間の場合（6000円－所得税）です。

講師謝金が必要でない場合もあります。（市政出前トーク 等）

※ 手引きP5

6 講師謝金は、いつ振り込まれますか。

生涯学習課に実施報告書と講師謝金口座振込依頼書、通帳コピーが届いてから、約1か月で口座に振り込まれます。書類に不備等があると、確認のために時間がかかる場合があるため、振込が遅れることもあります。

7 口座振込依頼書や委任状、金融機関口座届出書等の押印はインク内蔵印でもよいですか。

インク内蔵印は使えません。朱肉を使うタイプの印鑑をご使用ください。

8 保険は各学級で加入するのですか。

学習活動の保険は各学級で加入してください。

9 学級名を変えてもよいですか。

親しみやすい学級名に変えることができます。報告書等を提出する際には学級名のあとに校区名を入れてください。

(例) ○○いきいき学級 (○○地域女性学級)
○○学び隊 (○○中学校父親セミナー)

10 他の学級と合同で開催した場合、報告書はそれぞれの学級で提出する必要がありますか。

合同で実施した場合も、それぞれの学級で報告が必要です。報告書の項目で共通欄は、コピーでも構いません。学級名、実施回数、学級長氏名、出席者、感想の欄は、それぞれの学級でご記入ください。報告書の下部にある他学級との合同実施の欄は「有」に○印と合同実施をした他学級名をお書きください。

11 年度当初に開設届と年間学習計画を同時に提出する必要がありますか。

期限内の提出にご協力ください。年間学習計画の提出が間に合わない場合は、開設届を先にご提出いただき、年間学習計画は後日提出で構いません。ただし、第1回目の学習の前までにご提出ください。



社会学級の手引き

様式集



※ 様式集はHPにも掲載しています。→

様式 1	社会学級開設届出書	22
	社会学級開設届出書（記入例）	23
様式 2 - 1	家庭教育学級年間学習計画（小・中学校用）	24
様式 2 - 2	父親セミナー年間学習計画	25
様式 2 - 3	成人学級・女性学級年間学習計画	26
	年間学習計画（記入例）	27
様式 3	実施報告書	28
	実施報告書（記入例）	29
様式 4	口座振込依頼書	30
様式 5	委任状兼口座振込依頼書（講師謝金）	31
	委任状兼口座振込依頼書（記入例）	32
様式 6	社会学級修了証書 必要枚数報告書	33
様式 7	社会学級協力者謝金・金融機関口座届出書	34
様式 8	委任状兼社会学級協力者謝金口座振込依頼書	35
様式 9	講師派遣申請書（例）	36
様式 1 0	学級日誌	37

〈様式1〉

令和6年()月()日

鹿児島市教育委員会
生涯学習課長 殿

申請者 職名 _____
氏名 _____

令和6年度 社会学級開設届出書

下記のとおり、令和6年度社会学級を開設いたしますのでお届けします。

記

- 1 学級の名称 ()

- 2 開設期間 令和6年 月 日 ~ 令和 年 月 日

- 3 学級長 氏名 _____
連絡先(電話番号) _____
- 4 学級生数 () 人

※ 学級生数が未確定の場合は未記入でも構いませんが、わかり次第地域公民館を通して報告してください。

※ 地域公民館に2部提出

〈様式1〉(社会学級開設届出書記入例)

令和6年(4)月(23)日

鹿児島市教育委員会
生涯学習課長 殿

家庭教育学級・父親セミナーは、小・中学校長氏名を、成人学級・女性学級は、地域コミュニティ協議会長氏名をそれぞれ記入してください。

申請者

職名 〇〇地域コミュニティ協議会長

氏名 〇〇 〇〇

令和6年度 社会学級開設届出書

下記のとおり、令和6年度社会学級を開設いたしますのでお届けします。

学級の名称は、次のように記入してください。
「〇〇小(中)学校家庭教育学級」
「〇〇中学校父親セミナー」
「〇〇地域(校区)成人学級」
「〇〇地域(校区)女性学級」
※ 独自の学級名にすることもできます。

父親セミナーを家庭教育学級に統合したり、成人学級と女性学級を統合したりして開設する場合は、余白に次のように記入してください。

1 学級の名称 〇〇いきいき学級(〇〇地域成人学級)
(※ 女性学級と統合し、〇〇いきいき学級として開設)

2 開設期間 令和6年5月15日 ~ 令和7年2月20日

開設期間は、開講式と閉講式の予定を記入してください。

3 学級長 氏名 〇 〇 〇 〇

連絡先(電話番号) 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

4 学級生数 (25)人

学級生が未確定の場合は未記入でも構いませんが、分かり次第地域公民館を通して報告してください。

※ 地域公民館に2部提出

〈様式2-2〉

令和6年度 父親セミナー年間学習計画

() 中学校 学校長 氏名 ()
学級長 氏名 ()

回	実施日	時間	分類	テーマ	学習内容 (具体的に)	学習方法	備考・講師等
1	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
2	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
3	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
4	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
5	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					

※ P10「主に学習する内容について」及びP13「学習計画を立てるときの参考例」、P27「年間学習計画（記入例）」を参考に作成してください。

※ 「人権に関する学習」を年1回は計画し、分類の欄に「A」の記号を記入してください。

※ 地域公民館に2部提出

令和6年度 成人学級・女性学級 年間学習計画

(どちらかに○をしてください。)

(協議会長 氏名 ())
 学級長 氏名 ()

回	実施日	時 間	分類	テーマ	学習内容 (具体的に)	学習方法	備考・講師等
1	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
2	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
3	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
4	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
5	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
6	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
7	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
8	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
9	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					
10	月 日 曜日	時 分 〜 時 分					

※ P10「主に学習する内容について」及びP14「学習計画を立てるときの参考例」、P27「年間学習計画 (記入例)」を参考に作成してください。

※ 「人権に関する学習」を年1回は計画し、分類の欄に「A」の記号を記入してください。

※ 「消費者教育に関する学習」は、学級の状況により計画に組み入れることをご検討ください。分類の欄は「B」の記号を記入してください。

※ 地域公民館に2部提出

〈様式2-0〉 (実施計画書を作成するときの参考にしてください。提出用は各学級用〈様式2-1~3〉を使用してください。)

令和6年度 () 学級 年間学習計画 (記入例)

() 協議会長 氏名 ()
 () 学校長 氏名 ()
 学級長 氏名 ()

家庭教育学級・父親セミナーは学校名と校長名を、成人学級・女性学級は校区名と地域コミュニティ協議会長名を記入してください。

類	テーマ	学習内容 (具体的に)	学習方法	備考・講師等
1	6月5日 14時00分 水曜日 15時00分	開講式 家庭教育	開講式 役員選出・年間学習計画 家庭教育学級の意義について	話し合い 講話 学級委員 校長・教頭
2	○月○日 10時00分 □曜日 11時30分	A 人権について学ぶ	○○地域人権問題研修会	講話 県人権同和対策課 ○○ ○○
3	○月○日 13時30分 □曜日 14時30分	B 子どもの基本的な生活習慣について	子どもの成長に応じた親の対応について	講話 話し合い 家庭教育カウンセラー ○○ ○○
4	月			
5	○月 ○日 時 分			
	11月16日 14時00分 土曜日 15時45分	B 消費者教育に関する学習	様々な架空請求 消費者金融の借金の利息 クーリングオフや訪問販売等への対応	講話 DVD視聴 消費生活アドバイザー ○○ ○○

「人権に関する学習」を年1回は計画し、分類の欄に「A」の記号を記入してください。

家庭教育学級では、「B: 基本的な生活習慣の確立」「C: 青少年を取り巻く携帯電話・スマートフォン事情」に関する学習は学級の状況により計画に組み入れることをご検討ください。分類の欄に「B」「C」の記号を記入してください。

市消費生活センターに講師を依頼する場合は、まず生涯学習課(TEL 813-0851)へご相談ください。(生涯学習課で調整し、必要に応じて消費生活センター等へ連絡します。)

成人学級・女性学級では「消費者教育に関する学習」は、学級の状況により計画に組み入れることをご検討ください。分類の欄に「B」の記号を記入してください。

※ 記入にあたっては、本手引きのP10~15を参照してください。

〈様式3〉

実施報告書（記入例）

令和6年度（ 10 ）月分

中止の回の方は、提出の必要はありません。電話連絡をお願いします。

成人学級・女性学級は地域コミュニティ協議会長、家庭教育学級・父親セミナーは、小・中学校長

- (○) 家庭教育学級
- () 父親セミナー
- () 成人学級
- () 女性学級

(6) 回目実施報告書

中止の回があった次の回の報告は、計画の回の数より繰り下げて書いてください。

() 協議会長
(鹿児島中) 学校長

学級長氏名 (○○ ○○)

実施日時	10 月 17 日（木曜日） 10 時 00 分～12 時 00 分		
出席者	学級生	18 人	
	学級生以外	3 人	小中高生 0 人
学習方法	<input checked="" type="checkbox"/> ① 講話 <input type="checkbox"/> 2 話し合い <input type="checkbox"/> 3 実技 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 視聴フォーラム（タイトル名 ほんとの空） <input type="checkbox"/> 5 研修視察 <input type="checkbox"/> 6 野外活動 <input type="checkbox"/> 7 その他		
テーマ	分 類	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	人権に関する学習 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 学習する内容のテーマを書いてください。 </div>
講師	所属・役職	人権同和対策研究員 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 講師の所属、役職などを書いてください。 </div>	
	氏名	城山 太郎	謝金 <input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
学習内容	○○地域人権問題研修会 演題「誰もが幸せに生きるため」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 1 DVDフォーラム「ほんとの空」 2 高齢者の人権について 3 同和問題について 4 子どもの人権について (1) 児童虐待 (2) インターネット 5 人権についてのまとめ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 視聴覚教材(DVDなど)のタイトル </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 謝金が必要な場合は、P4を参照してください。また、講師本人以外の口座に振り込む場合は、「委任状兼口座振込依頼書」(様式5)及び振込先の通帳の写しを一緒に提出してください。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 謝金が「要」の場合、謝金を支払う根拠となる講師の指導内容が分かるように具体的に書いてください。 </div>		
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習後の感想、参加者の声など ・ 地域公民館や教育委員会に知らせたいことなど <p>誰もが幸せになるように、一人一人が意識して人権を大切に思いながら過ごせたらいいな</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 他の学級と合同で実施した場合は、「有」に○印をつけて、学級名を書いてください。 </div>		
他学級との合同実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	他学級名	鹿児島中学校 父親セミナー

〈様式4〉 (本人の個人口座に振り込む場合、こちらの様式を使ってください。)

令和6年度

口座振込依頼書

鹿児島市長 殿

() 学校・校区

() 家庭教育学級 (小学校)

() 家庭教育学級 (中学校)

() 父親セミナー

() 成人学級

() 女性学級

申請者 (振込相手方) 自宅住所

氏 名



(※ 支払調書を送付する際に上記の住所・氏名で作成します。正確な情報を記入してください。)

() 校区・学校の () 学級 () 月 () 日実施分の講師謝金については、下記の口座に振り込んでくださるよう依頼します。

記

金融機関名	銀行	本店
	金庫	支店
	組合	出張所
口座番号	普通 ・ 貯蓄 No (該当の種別に○をしてください。)	
口座名義	(フリガナ) 通帳どおりご記入ください。	
連絡先	振込みができなかった場合の電話連絡先	

講師への謝金振込み金額は、1講座につき次のようになります。

	支払額	所得税額	差引支給額 (口座振込み額)	
(1時間)	3,000円	-306円	=2,694円	※ 実施時間に○印 をしてください。
(2時間)	6,000円	-612円	=5,388円	

※ 原則として、個人口座への振込みは源泉徴収した (所得税を差し引いた) 金額になります。

- 1 本人の個人口座以外に振込みを希望される場合は、様式5を使用してください。
- 2 名義は、必ず預金通帳のとおり記入し、振込先の預金通帳の写し (店名・預金種別・口座番号・名義が確認できるもの) を添付してください。無通帳口座の場合は、上記事項が確認できるWEB画面のプリントアウト等を添付してください。(ゆうちょ銀行の場合、店番号を記入してください。例：七八八など)
- 3 記入にあたっては、鉛筆や消えるボールペンは使用しないでください。

〈様式5〉（謝金を講師本人以外の口座に振り込む場合、こちらの様式を使ってください。）

令和6年度

令和()年()月()日

委任状

鹿児島市長 殿

委任者（講師） 自宅住所

氏 名

印

私は下記の者に（ 校区・学校）の（ 学級）（ ）月（ ）日
実施分の講師謝金の受領に関する権限を委任します。

記

受領に関する受任者（振込相手方）

住 所

会 社 等 名

役職・氏名

印

印

口座振込依頼書

鹿児島市長 殿

申請者（振込相手方） 住 所

会 社 等 名

役職・氏名

印

印

（※ 支払調書を送付する際に上記の住所・氏名で作成します。正確な情報を記入してください。）

上記委任事項に係る請求金の受領については、下記口座に振り込んでくださるよう依頼します。

記

金融機関	銀行 金庫 組合	本 店 支 店 出張所
預金種別 口座番号	普通 ・ 貯蓄 No (該当の種別に○をしてください。)	
口座名義	(フリガナ)	通帳どおりご記入ください。
連絡先	(振込みができなかった場合の電話連絡先)	
所得税に ついて	講師への謝金振込み金額は、1講座につき次のようになります。 支払額 所得税額 差引支給額（口座振込み額） (1時間) 3,000円 -306円 =2,694円 ※ 実施時間に○印 (2時間) 6,000円 -612円 =5,388円 をしてください。 会社で税の申告をするため、源泉徴収が不要の場合は、不要に○をしてください。 ※ 源泉徴収 不要	
◎ 当該支払金は（ 委任者の収入 ・ 受任者の収入 ）となります。		

※ 振込先の通帳の写しを添付してください。無通帳口座の場合は、上記事項が確認できるWEB画面のプリントアウト等を添付してください。

〈店名・預金種別・口座番号・名義人（ヨミガナ）が明記してあるもの〉

※ この様式は次のような場合に限り提出してください。

- ・ 講師本人の口座がなく、配偶者等の口座へ入金希望する場合
- ・ 会社等の業務として講師を引き受けたので、会社等の口座へ入金希望する場合

※ 受領に関する受任者と申請者の住所、会社等名、氏名は同一とします。

※ 押印箇所が3か所ありますが、1番上の印鑑と2・3番目（同じ印鑑）の印鑑は異なるものを使ってください。インク内蔵印は使えません。朱肉を使うタイプの印鑑をご使用ください。

※ 会社等の場合、氏名の前に役職（代表取締役等）を記入してください。

※ 記入にあたっては、鉛筆や消えるボールペンは使用しないでください。

〈様式5〉（謝金を講師本人以外の口座に振り込む場合、こちらの様式を使ってください。）

令和6年度

令和()年()月()日

委任状

鹿児島市長 殿

● 個人印 ※インク内蔵印以外

委任者（講師） 自宅住所 鹿児島市荒田〇ー〇
氏名 城山 二郎 (印)

私は下記の者に（ 校区・学校）の（ 学級）
実施分の講師謝金の受領に関する権限を委任します。

記

受領に関する受任者（振込相手方）

住 所 鹿児島市与次郎〇ー〇
会社等名 城山建設株式会社 会設城
役職・氏名 代表取締役 城山 二郎 (印)

- ① 講師が社員の場合
→社員個人名・個人印
② 講師が代表者の場合
→代表者名・個人印

鹿児島市長 殿

口座振込依頼書

● 代表者個人印

※ インク内蔵印以外

● 会社印

● 会社等名・代表者
名・印鑑は一致する

申請者（振込相手方） 住 所 鹿児島市与次郎〇ー〇
会社等名 城山建設株式会社 会設城
役職・氏名 代表取締役 城山 二郎 (印)

（上記の住所・氏名で作成します。正確な情報を記入してください。）

上記委任事項に係る請求金の受領については、下記口座に振り込んでくださるよう依頼します。

記

金融機関	九州 銀行 本店 金庫 鹿児島 支店 組合 出張所
預金種別 口座番号	普通・貯蓄 No 1 2 3 4 5 6 (該当の種別に○をしてください。)
口座名義	(フリガナ) シロヤマケンセツカブシキガイシャ 通帳どおりご記入ください 城山建設株式会社
連絡先	(振込みができなかった場合の電話連絡先)
所得税について	講師への謝金振込み金額は、1講座につき次のようになります。 支払額 所得税額 差引支給額（口座振込み額） (1時間) 3,000円 -306円 =2,694円 ※ 実施時間に○印 (2時間) 6,000円 -612円 =5,388円 をしてください。 会社で税の申告をするため、源泉徴収が不要の場合は、不要に○をしてください。 ※ 源泉徴収 (不要)
◎ 当該支払金は（ 委任者の収入 ・ 受任者の収入 ）となります。	

必ず確認をしてください。

※ 振込先の通帳の写しを添付してください。無通帳口座の場合は、上記事項が確認できるWEB画面のプリントアウト等を添付してください。

〈店名・預金種別・口座番号・名義人（ヨミガナ）が明記してあるもの〉

※ この様式は次のような場合に限り提出してください。

- ・ 講師本人の口座がなく、配偶者等の口座へ入金希望する場合
- ・ 会社等の業務として講師を引き受けたので、会社等の口座へ入金希望する場合

※ 受領に関する受任者と申請者の住所、会社等名、氏名は同一とします。

※ 押印箇所が3か所ありますが、1番上の印鑑と2・3番目（同じ印鑑）の印鑑は異なるものを使ってください。インク内蔵印は使えません。朱肉を使うタイプの印鑑をご使用ください。

※ 会社等の場合、氏名の前に役職（代表取締役等）を記入してください。

※ 記入にあたっては、鉛筆や消えるボールペンは使用しないでください。

〈様式6〉

社会学級修了証書 必要枚数報告書（成人・女性学級用）

（※ 家庭教育学級・父親セミナーは、学校からSee-Smile2で報告してください。）

	校区
成人学級用証書	枚
女性学級用証書	枚
オリジナル学級名用証書	枚
閉講式予定期日	月 日（ ）

- 1 社会学級の該当する箇所のみ、数字でお書きください。
- 2 必要がない場合は、0とお書きください。
- 3 おおむね実施回数の7割以上の出席があった方に修了証書を授与しています。
報告後に変更がある場合は、生涯学習課へ連絡してください。
- 4 この用紙で、FAXもしくは使送便により報告してください。

報告期日 令和6年11月15日（金）

報告先 成人学級 → 地域コミュニティ協議会 → 地域公民館 → 生涯学習課
女性学級

家庭教育学級 → 小・中学校 → 生涯学習課
父親セミナー

（See-Smile2 配布物管理）

※ 各地域公民館等のFAX番号

番号	地域公民館	FAX番号	番号	地域公民館	FAX番号	番号	地域公民館	FAX番号
1	中央公民館	224-4529	6	伊敷公民館	220-1867	11	喜入公民館	345-1817
2	鴨池公民館	257-0493	7	武・田上公民館	281-0699	12	松元公民館	278-3830
3	城西公民館	224-3775	8	東桜島公民館	221-2328	13	郡山公民館	298-2231
4	谷山市民会館	267-5989	9	吉田公民館	294-1232	14	谷山北公民館	269-6392
5	吉野公民館	244-2567	10	桜島公民館	293-2725		生涯学習課	813-0937

〔学級長が年度後半(11月～12月13日)学校・地域コミュニティ協議会提出する様式〕

〈様式7〉 (本人の個人口座に振り込む場合、こちらの様式を使ってください。)

() 学校・校区
 () 家庭教育学級 (小学校)
 () 家庭教育学級 (中学校)
 () 父親セミナー
 () 成人学級
 () 女性学級

令和6年度 社会学級協力者謝金・金融機関口座届出書

鹿児島市長 殿

協力者 自宅住所

氏 名 (印)

(※ 支払調書を送付する際に上記の住所・氏名で作成します。正確な情報を記入してください。)

令和6年度社会学級協力者(学級長)謝金については、下記の口座に振り込んでください。

記

金融機関名	銀行	本店
	金庫	支店
	組合	出張所
口座番号	普通・貯蓄 No (該当の種別に○をしてください。)	
口座名義	(フリガナ)	通帳どおりご記入ください。
連絡先		振込ができなかった場合の電話連絡先

協力者への謝金振込み金額につきましては、次のようになります。

支払額	所得税額	差引支給額(口座振込み額)
3,000円	-306円	=2,694円

※ 原則として、個人口座への振込みは源泉徴収した(所得税を差し引いた)金額になります。

- 1 本人の個人口座以外に振込みを希望される場合は、様式8を使用してください。
- 2 名義は、必ず預金通帳のとおり記入し、振込先の預金通帳の写し(店名・預金種別・口座番号・名義が確認できるもの)を添付してください。無通帳口座の場合は、上記事項が確認できるWEB画面のプリントアウト等を添付してください。
(ゆうちょ銀行の場合、店番号を記入してください。例：七八八など)
- 3 記入にあたっては、鉛筆や消えるボールペンは使用しないでください。

〔学級長が年度後半(11月～12月13日)に学校・地域コミュニティ協議会に提出する様式〕

〈様式8〉 (本人以外の口座に振り込む場合、こちらの様式を使ってください。)

令和6年度

令和()年()月()日

委任状

鹿児島市長 殿

委任者(協力者) 自宅住所

氏 名

印

私は下記の者に() 校区・学校)の() 学級・セミナー)協力者謝金の受領に関する権限を委任します。

記

受領に関する受任者(振込相手方)

住 所

氏 名

印

印

社会学級協力者謝金・口座振込依頼書

鹿児島市長 殿

申請者(振込相手方)住 所

氏 名

印

印

(※ 支払調書を送付する際に上記の住所・氏名で作成します。正確な情報を記入してください。)

上記委任事項に係る請求金の受領については、下記口座に振り込んでくださるよう依頼します。

記

金融機関	銀行 金庫 組合	本店 支店 出張所
預金種別 口座番号	普通 ・ 貯蓄 No (該当の種別に○をしてください。)	
口座名義	(フリガナ) -----	通帳どおりご記入ください。
連絡先	振込ができなかった場合の電話連絡先	
所得税について	会社で税の申告をするため、源泉徴収が不要の場合は、不要に○をしてください。 〔1講座〕3,000円(支払額) - 306円(所得税) = 2,694円(差引支給額) ※ 源泉徴収 (不要)	
◎ 当該支払金は(委任者の収入 ・ 受任者の収入)となります。		

※ 名義は、必ず預金通帳のとおり記入し、エラー防止のため通帳写し(コピー)を添付してください。無通帳口座の場合は、上記事項が確認できるWEB画面のプリントアウト等を添付してください。(ゆうちょ銀行の場合、店番号を記入してください。例：七八八など)

※ 押印箇所が3か所ありますが、1番上の印鑑と2・3番目(同じ印鑑)の印鑑は異なるものを使ってください。

※ 記入にあたっては、鉛筆や消えるボールペンは使用しないでください。

〈様式9〉（一例です。必要に応じて、直接講師に申請してください。）

令和 年 月 日

殿

() 学 校 長

() 協 議 会 長

学級長氏名 ()

講 師 派 遣 申 請 書 (例)

下記のとおり、講師の派遣を申請しますので、承認くださるようお願い申し上げます。

記

開催する会合または 学 級 ・ 講 座 名	
要 請 す る 講 師 名	
要 請 年 月 日	
会 場 及 び 会 場 へ の 経 路 ・ バ ス 時 刻 等	
日 程 の 概 要	
講 師 へ の 要 望 等	

※ 家庭教育学級・父親セミナーは学校名を、成人学級・女性学級は校区名を記入してください。
(学校長や地域コミュニティ協議会長には必ず承諾を得てください。)

(様式10) 学級日誌 (コピーして、学習活動の記録として使用できます。)

月	日	曜日	記録者						
テーマ			講師氏名						
実施時間	時	分	～	時	分	出席人数		人	
1 内容									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
2 反省									
.....									
.....									
.....									

月	日	曜日	記録者						
テーマ			講師氏名						
実施時間	時	分	～	時	分	出席人数		人	
1 内容									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
2 反省									
.....									
.....									
.....									

あなたとわくわく



マグマシティ
鹿児島市

鹿児島市教育委員会

生涯学習課

鹿児島市生涯学習プラザ
(愛称：サンエールかごしま)

〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目4番1号

TEL 099 (813) 0851

FAX 099 (813) 0937

Email sgaku-syogai@city.kagoshima.lg.jp